

## 私のひと言

### 「行革・意識改革—その1—」

今、町は自立の道を歩みはじめています。自立の道は険しく、登りつめることの困難さは、私を始め、職員も承知のことである。

先日、職員の意識の統一とヤル気の啓発のため職員全体会議を開催した。私が職員の前で話したことを、住民の皆様にもお知らせしたい。

「現在、当町は国の三位一体の改革、税収の低迷により、厳しい財政運営を強いられている。だからといって、思うような仕事が出来ない、政策を打ち出せないといった、言い逃れはしたくない。このような時こそ、長、職員が共通認識・目標を持って行動すべきであり、ヤル気を持てば、出来るんだということを住民の皆様にも示さなければならない。」

私はこうした局面に臨み、二つの大きな柱で町づくりを進めたい。

一つは、協働のまちづくりである。

従来の行政主体の町づくりから、対話による、町と住民が一体となった、住民主体による町づくりを推進したい。

ふるさとを愛し、住んで良かったという町にするため、住民自らが考え、住民等しく町づくりに関わることが最も大切であると考えているからである。

これらの考えは現在、「さわやか町民会議」が立ち上がり、そこには各種活動部会ができるなど、序々にではあるが、協働の町づくりの意識が浸透してきていると感じている。

もう一つは、行財政改革の実行である。

すでに、4月より行財政改革が三つの柱、①組織改革、②財政改革、③住民サービス向上によりスタートしている。始めたからには、必ず、結果が求められる。住民も注目している。

望まれる結果を出すには、全職員が意識改革を行い、同じ目標に向かって取り組む決意と行動力が必要であることは言うまでもない。

よりよい町をつくり上げる。役場の組織をより良く変えることは、言うは易し、行うは難しである。まずは、今までの習慣、考え、行動を変えることから始めていきたい。」(次号につづく)



矢吹町長  
野崎吉郎



野崎町長から慶賀状を受けるミトリさん



なお、町の100歳以上の高齢者は、ミトリさんで3人目。県内では388人目(男性53人、女性335人/平成17年7月18日現在)となっています。

7月18日めでたく満100歳(明治38年生まれ)の誕生日を迎えられた島木ミトリ(滝八幡/寿光園入所)さんは、同日「知事賀寿」の贈呈を受けられました。

ミトリさんは現在、施設に入所されていますが、食欲もあり、お顔顔などが好物だということです。ちなみに、ミトリさんがお生まれになった明治38年(1905年)は、日露戦争の講和条約である「ポーツマス条約」が締結された年・・・100年という月日の重さを感じます。



# めでたく、100歳！ 島木ミトリさんへ賀寿贈呈

## 行政 まちの動き 情報

### 地域の子どもは地域で守る—— 「子ども安全見守り隊」

#### 結成



矢吹小学校区「子ども安全見守り隊」の結成式・委嘱状交付式が6月30日、同校体育館で行なわれました。

この「見守り隊」は、児童が安全に登下校できるように、自宅周辺の交差点や人通りの少ない場所で見守りを行なうだけでなく、土・日や祝日、放課後にも校舎や校庭の様子を見守る地域のボランティアのみなさんです。

式では、74人の隊員を代表して佐藤悳二さん(新町)に委嘱状と見守り隊の胸章が手渡され、そのあと隊員紹介などが行なわれました。

なお、この「見守り隊」は善郷小学校区ではすでに活動を開始しており、中畑・三神の両小学校でも結成に向けて準備が進められています。



委嘱状と胸章を受ける  
佐藤悳二さん



全校生を代表して決意のこたばを述べる佐藤祥宏くん

※ 近隣の合わせ先  
学校教育課義務教育係  
☎(44) 44400